

## 設 立 趣 旨 書

JR 町田駅南口は、戦後まもなく特異な飲食店街として開けてきた。二十数年前から外国人ホステスが働くようになり、周辺の風紀は次第に悪化し一般市民にとって大きな不安材料となってきた。

13年前、神奈川県警に依る大規模な取締りを契機に、風俗街の撲滅を目指して市民が立ち上がり、『JR 町田駅南口を明るく犯罪のない街にする連絡調整会』が発足した。調整会は、警察・行政・市民を巻き込んだ環境浄化市民大会をたびたび開催し撲滅を社会に訴えた。その結果、市民の関心が高まるとともに取締りも強化され、風俗街は次第に弱体化し今ではほぼ壊滅し、不安要素はかなり解決したといえる。

以降連絡調整会は、この地域を元の風俗街に後戻りさせないことを目的に『市民交番サポート隊』を結成し、交番勤務を支援してきた。しかし『市民交番サポート隊』は次第に高齢化し、新たな若手ボランティアの参加がほとんどないという課題があった。

そこで、地域防犯や交通安全運動充実のために、『特定非営利活動法人 さがみはら市民交番青パト隊』を設立し、大学生ボランティアや地域若手ボランティアの協力を頂くことで、現在週1回の青色パトロールカーの運行回数を増やすとともに、交番サポート事業も充実させることも出来るようになる。

また、運行に際しては、青パトの側面に『特定非営利活動法人 さがみはら市民交番青パト隊』と表示するとともに、名称入りブルゾンを着用することで話題性と若者の参加意識を高めることも考えている。

事業対象地域は、市民交番を拠点とした相模原市南区内とし、相模原南警察署生活安全課や南区役所地域政策課との連携を密にしたいと考えている。

広範なボランティア受け入れや事業の継続性ととも事業の信頼性と活動資金の透明性の観点から NPO 法人化を図る必要があり、ここに『特定非営利活動法人 さがみはら市民交番青パト隊』を設立するものである。

平成24年11月18日

法人の名称 特定非営利活動法人 さがみはら市民交番青パト隊

設立代表者 本間 俊三